



港区立高松中学校 学校だより<第2号>

平成27年5月7日 校長 鋸持 利行

創立1949年(昭和24年)

<高松中生のあたりまえ>推進校

港区高輪1-16-25

生活リズムの再点検を

校長 鋸持 利行

緑深まる中での4月は、出会いと別れを実感して新たな一步を踏み出したという感じがします。ご家庭での子どもたちの様子はいかがでしょう。新しい学校生活のリズムに慣れてきているでしょうか。新しい担任の先生・友だち・教室など、一年進級した思いを胸に楽しく登校していれば何よりです。5月の連休明けには、今一度、学習習慣、生活習慣、そして生活リズムを再点検して学校生活・家庭生活を送ってほしいと考えています。

さて、少し古い話ですが、昭和40年代の子どもたちのヒーロー「帰ってきたウルトラマン」が故郷M78星雲に危機が迫り帰って行くときに、次郎少年がウルトラマンと誓ったことを叫ぶシーンがあります。「1つ、腹ぺこのまま学校へ行かぬこと。1つ、道を歩くときは車に気をつけること。1つ、人を頼りにはせぬこと。1つ、土の上で裸足で遊ぶこと。」これがウルトラの誓いです。

現代の生活実態とは違いはあるかもしれませんが、健康・安全・自律は子どもたちが育つうえで大切なことをメッセージとして伝えています。腹ぺこで学校へ来たのでは学習効率が上がりません。今は車だけではなくりましたが、安全を確保すること、そして太陽のエネルギーを十分に浴びて元気に遊ぶことなど、子どもたちに分かりやすく語っています。

また、ヒトという動物は、寝て食べて考えながら活動する動物です。活動の中身は学習、遊び、運動、コミュニケーション、社会活動とさまざまですが、ヒトという動物は、寝ないでは十分な活動ができないように作られてしまっ

ている動物なのです。気合と根性で、頑張っ



て寝ないでいては、脳がくたびれ果ててしまうのです。寝る間を惜しんで仕事をして

まともな仕事ができるわけがありません。どうか皆さんは眠りを疎かにしないで、生活リズムをつくる基本に据えてほしいと思います。

今、学校では23日(土)に予定されている運動会に向けた準備・練習に熱心に取り組んでいる最中です。保護者・地域の皆様には、大変お忙しい中とは思いますが、ご来校いただき日頃の学習の成果や生徒の頑張りをご覧いただければと思います。

よろしくお願

学年主任の先生方から

【第1学年 学年主任】

育てたい生徒像

思いやりのある心豊かな生徒

学年目標

- (1) 基本的生活習慣を身につけさせる。
- (2) 他人を思いやる心を育てる。
- (3) 基礎学力の定着を図り、落ち着いた学習態度を養う。

学年経営方針

- (1) 各教員の個性、学級の独自性は尊重して行うが、教員の指導に偏りが生じないように、学年で統一した見解を持つ。
- (2) 常に生徒の実態を正しくとらえ、情報交換を密に行い、小さなことでも学年で相談する。
- (3) いろいろな問題に対しては、個人・担任まかせにすることなく、必ずチームで取り組む。

【第2学年 学年主任】

育てたい生徒像

- ・素直な生徒（昨年と同じですが、年頃を考えて敢えて「素直さ」を大切に考えています）
- ・自ら進んで物事に取り組む生徒(高松中の中堅学年として)

学年目標

- ① 自分のことだけ考えない
- ② 他人との接し方を身に付ける あいさつ、礼儀、言葉遣い

学年経営方針

2学年の生徒全員が生き生きとした学校生活を送ることができるよう、教員も団結していきたいと思
います。「『中だるみ』させない!」を合い言葉にやっています。

【第3学年 学年主任】

育てたい生徒像

「高松中生のあたりまえ」を実践する生徒

学年目標

- ① 授業を大切にする。
- ② 集団生活のルールを守る。
- ③ 自分の役割は責任をもって果たす。
- ④ 元気にあいさつできる学年
- ⑤ 感謝のできる学年（3学年より追加）

学年経営方針

「やってみせて、言って聞かせて、させてみせ、ほめてやらねば、人は動かじ」
をモットーに、教員自ら、生徒の模範となって指導にあたる。そして、自ら行動できる生徒を育てる。